

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 市民生涯学習推進講座（市民マイプラン講座）
-------------------	------------------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる
施策	1	市民の主体的な学習の推進
小分類	1	生涯学習活動の促進
主要な施策	1	ライフステージ（生涯学習各期）に対応した多様な学習機会の充実
事務事業番号	004	事務事業コード 51111004 事業開始年度 平成 3 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	市民生涯学習推進講座経費（市民マイプラン講座）
------	------	------------	-------------------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> 市内の団体、サークルが自主的に行う学習会を支援することにより、市民の学習意欲を喚起し、生涯学習の推進を図る。
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> 10人以上のグループ、サークルで企画する講座や学習会を支援するために、講師への謝礼金を支援する。 1回にあたり5,000円（1団体に年1回のみ） 講座内容：調理実習、健康講座、陶芸教室など
成果	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> 支援により多種多様な学習会が活発に行われ、生涯学習の推進が図られた
根拠法令等	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> 市民マイプラン講座実施要綱

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	実施講座数	回	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	20				
	参加者数	人	目標値	630	630	630	630	630
			実績値	433				

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	100	150	150	150	150	450
合 計				100	150	150	150	150	450
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	299	307			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		299	307			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 生涯学習社会実現のため、市民の生涯意欲を促す必要があることから、市が実施することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 市民が創意工夫を行い、自発的に行っていることから、生涯学習社会に近づいていると考えられる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 広報紙での呼びかけなどで、より広く市民に周知を行うことで、生涯学習を促すことができると考えられる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 今後著しい利用者の減少があれば、事業自体の見直しも必要となるが、生涯学習の推進に一定の役割を果たしているため、現時点での削減は難しい。

担当グループによる評価

維 持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	市民の自主的な学習（生涯学習）をサポートする事業であるため、今後においても推進していく必要がある。
-----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維 持	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）